

2023年11月9日 開催予定

NISSOホールディングス株式会社
会社説明及び2024年3月期第2四半期
決算(日総工産株式会社分)説明会資料

 働きものを、幸せものに。
NISSOホールディングス
東証プライム市場 コード9332

NISSO HD、営業利益は前期比89.2%増
オートモーティブインダストリーは部品不足が解消し生産が本格化

NISSOホールディングス株式会社 代表取締役社長執行役員兼CEO 清水竜一 氏

目次

- 1 NISSOホールディングスについて
- 2 2024年3月期 第2四半期 日総グループの業績概要
- 3 2024年3月期 第2四半期 主要事業会社（日総工産）の活動概況
- 4 セグメント別業績について
- 5 今後の見通し(2024年3月期)
- 6 株主還元方針
- 7 補足資料

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

1

清水竜一氏（以下、清水）：みなさまこんにちは。本日はお忙しい中、私どもの2024年3月期第2四半期の決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また、Webでご視聴されているみなさまについても、誠にありがとうございます。

今回は10月2日にホールディングスに移行して以来、初めての説明会となりますので、冒頭ではホールディングスに移行した理由・目的等についても触れたいと思います。

目次に沿って進めていきますので、よろしくお願いいたします。

1

NISSOホールディングスについて

Setting our sails to the new frontier —新領域へ—

2023年10月2日

NISSOホールディングスは
『52年目の産声』を上げました。

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

3

まずは、ホールディングスについてです。新領域については後ほどご説明します。

私ども日総グループは、これからに向けた100年企業として、市場から選び続けていただける会社を目指していきたいと考えています。それと同時に、しなやかさやスピード感のある企業グループを作っていきたいという思いから、「『52年目の産声』を上げました」と表現しています。

日総グループは、2023年10月「NISSOホールディングス株式会社」を設立し、純粹持株会社体制として新たな一歩を踏み出しました。



代表取締役社長執行役員兼CEO
清水 竜一

日総グループが更なる成長を遂げていくためには、意思決定の迅速化、戦略的・機動的なM&Aや資本政策、次のコアとなる事業機会の創出、経営資源の最適化などが必要と考えております。

グループ全体でシームレスな経営管理体制を確保しつつ、各事業会社が専門性を高め、得意分野に集中できるような環境を確保するとともに、人材は事業の中核を担う重要な資本との認識のもと「人づくり」や「職場づくり」といったウェルビーイング経営に取り組んでまいります。

日総グループは、皆さまとともに歩みを進め、常に選ばれる企業へと進化します。どうぞ、ご期待ください。

私どもは上場会社としてたくさんのステークホルダーがいるのですが、やはり人材会社としては、働く方々に選んでいただける会社を目指したいと考えています。そのためにあるべき姿・ありたい姿とは何なのだろうということ、ホールディングスへ移行する中で徹底的に追求していきます。そして、現状で足りないピースと言いますが、足りない人材やノウハウを持っている会社に仲間に加わってもらいながら、スピードを上げて進んでいきたいと考えています。

また、若干の私見も含まれるのですが、私どもの既存事業である3つのインダストリーについてかねてからご説明していますが、実は2027年に大きな転換点を迎えるのではないかと見ています。2026年、2027年は、半導体工場やEVのバッテリー工場といった大きなプロジェクトが目白押しです。この時までにはしっかり準備ができていないと、私たちは勝ち残ることができないのではないかと、非常に良い意味での危機感を持っています。



事業を支えてきた「人」を根幹としながら新たな領域を開拓

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

新領域についてです。例えば、少しとがったところで言いますと、インターステラテクノロジズという堀江貴文さんがファウンダーを務める会社に出資しています。後ほどご説明しますが、その分野で活躍できる人材をこれからたくさん育成したいと考えております。

そして、既存の半導体領域に加えて、2027年には先端半導体工場のビッグプロジェクトがいくつか立ち上がります。また、今までは輸送機器と呼んでいたものを、私はあえて先端型モビリティ事業と定義していますが、従来の自動車のみならず、例えば空飛ぶ車のようなものも含めて、これからどんどん新しいテクノロジーが要求され、新しい使い方ができる分野があります。

さらに、今ではFA（ファクトリーオートメーション）とは言わないかもしれませんが、いわゆるロボットの分野もあります。私どもは人をたくさん抱えている会社ですから、ヘルスケアの分野にも積極的に打って出ていきたいと思っています。

そして、それぞれの分野の中で、HRテックを我々の強みとして、あらゆる産業に貢献していきたいと考えています。具体的には、各分野で活躍できる方々の育成の仕組みづくりや、マッチングの高度化などが挙げられます。

- 私たちを取り巻く経営環境やニーズはかつてない速さで変化。
- 持株会社体制により様々な課題に着手。



Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

6

スライドの図には、私どもの考え方を示しています。さまざまな課題が散在し、変化が大変激しい時代ですので、新しい課題もどんどん出てきます。この課題解決のスピードをとにかく大幅に上げることが、企業として勝ち残るためには大事なのではないかと考えています。

名 称	NISSOホールディングス株式会社
上場日	2023年10月2日
上場取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	9332
事業内容	製造派遣・製造請負、一般事務派遣・BPO、施設介護・在宅介護等の事業を営むグループ会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務等
設立年月日	2023年10月2日
本店所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目4番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員兼CEO 清水 竜一
資本金	2,016百万円
発行済み株式総数	34,024,720(株)
決算期	3月31日

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

7

NISSOホールディングスの概要です。証券コードが従来の6569から9332に変更となっている点だけお伝えしておきます。「日総工産が上場廃止した」と言う方がいるため、この場で重ねてご説明しました。

■日総グループの「サステナビリティサイト」 を新設、掲載情報を充実化

<https://www.nisso-hd.com/sustainability/>



■主要事業会社、日総工産にて自社求人サイトの 新たなCMを公開

<https://www.nisso.co.jp/news/2794/>



■日総グループが応援する神奈川大学が 箱根駅伝の本戦に2年ぶりに出場決定！

<https://www.nisso.co.jp/column/2871/>



「提供：神奈川大学」

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

8

トピックスを3つご紹介します。1つ目は、SDGsに代表されるような持続可能な社会の一員として、「サステナビリティサイト」を新設しました。今後、積極的に取り組んでいこうと考えています。

2つ目は、特に昨今、露出度がぐっと上がっているのですが、自社サイトのためのCMをリニューアルしました。従来のものは「製造分野の改革をしていこう」という内容でしたが、新しいシリーズでは「工場の先、ものづくりの先にどんな未来があるのか？」ということを打ち出しています。スライドの画像にもたくさんの方が写っていますが、この中には実は日本人以外の方もたくさんいます。これにより多様化や国際化といったメッセージを伝えたいと考え制作しました。

3つ目は、我々がサポートしている神奈川大学が、2年ぶりに箱根駅伝に出場します。昨年は二十数秒の差で出場を逃したため、うれしいニュースとなりました。

NISSO 日総工産株式会社

日総工産株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル
▶ **事業内容**
製造系人材サービス（製造派遣、製造請負、職業紹介等）

Nisso Brain
いつも「ありがとう」のとなり。

日総ブレイン株式会社
神奈川県横浜市鶴見区豊岡町28-26
日総第一ビル
▶ **事業内容**
事務系人材サービス



人と向き合い 人に寄り添う
日総ニフティ株式会社

日総ニフティ株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル
▶ **事業内容**
施設介護事業、在宅介護事業

日総ぴゅあ株式会社

日総ぴゅあ株式会社
神奈川県横浜市港北区新横浜1-4-1
日総工産新横浜ビル
▶ **事業内容**
軽作業請負、物販
（日総工産株式会社 特例子会社）

Vector Shirwa
株式会社ベクトル伸和

株式会社ベクトル伸和
愛知県知立市池端3-1
▶ **事業内容**
人材総合サービス

N-PRIME 株式会社ニコン日総プライム

株式会社ニコン日総プライム
神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-2
新横浜214ビル3F
▶ **事業内容**
人材派遣・人材紹介事業
人材シエアリング事業・受託・請負事業
高齢者の活躍機会創出及び働き続けられる仕組みの構築に関する企画・研究開発・運営・サポート

NISSO 上海霓索人力資源服務有限公司

上海霓索人力資源服務有限公司
上海市浦东新区学林路36号7号楼508室
▶ **事業内容**
人材紹介
人材コンサルティング

Leaf NxT

株式会社リーフネクスト
東京都品川区東五反田1-4-1
八二一五反田第2ビル4階
▶ **事業内容**
人材派遣事業
育成型有資格者派遣事業
人材紹介プラットフォーム事業
メディアディレクション事業 等

グループ会社は従来どおりですので、ご説明は割愛します。

経済アナリスト馬淵磨理子さんと対談を実施

ホールディングス化の狙いや、ありたい姿を目指す上で、具体化する対象（仲間）をどう考えているのか、今後の成長に向けた戦略、現在どんな追い風が吹いているのかなど、当社グループに関わる様々な内容をご紹介します。

皆さま、ぜひご覧ください。



https://www.nsjournal.jp/nsj_library/nisso-9332/

先般、ちょうどホールディングスに移行した直後に、経済アナリストの馬淵磨理子さんと対談しました。こちらを見ていただくと、ホールディングス化の狙いを理解するヒントになると思いますので、ぜひご覧いただくと幸いです。

2

日総グループの業績概要 (2024年3月期 第2四半期)

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

11

それでは、2024年3月期第2四半期の日総グループの業績概要について説明します。

2024年3月期 第2四半期 実績

- 売上高は第2四半期としては上場来、最高
- 営業利益は前年同期比で89.2%増加
- オートモーティブは部品不足が解消、生産が本格化
- セミコンダクターは低調、想定を上回る回復遅れ
- エンジニアはさらなるニーズへの対応に向け準備開始
(熊本研修施設の大幅増床を計画)
- 介護・福祉系サービスは前年同期比で増収増益

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

12

グループの業績概要について、スライドの1点目、2点目は記載のとおりです。我々の得意分野であるオートモーティブインダストリー（自動車製造・EV関連製造業界）の部品不足がようやく解消に向かっており、完全ではないものの、パワー半導体も含めて揃ってきたため、力強く回復しています。その反面、セミコンダクターインダストリー（半導体製造業界）のメモリや半導体の製造装置の回復は若干遅れています。

エンジニアについては、さらなるニーズへの対応に向けて準備を開始したと記載しましたが、こちらは後ほど詳しくご説明します。また、その他セグメントの介護・福祉系サービスは、前年同期比で増収増益となりました。

(単位：百万円)

ポイント**営業利益、対前年同期比89.2%増加**

- 在籍人数の増加、オートモーティブの稼働回復もあり売上高は、9.8%増加。
- その他の事業（介護・福祉系サービス）は前年同期比で増収増益。

	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	43,162	100.0%	47,381	100.0%	4,219	9.8%
売上総利益	6,587	15.3%	7,420	15.7%	832	12.6%
販管費	6,077	14.1%	6,455	13.6%	377	6.2%
営業利益	510	1.2%	965	2.0%	455	89.2%
経常利益	582	1.3%	998	2.1%	416	71.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	347	0.8%	625	1.3%	278	80.1%

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

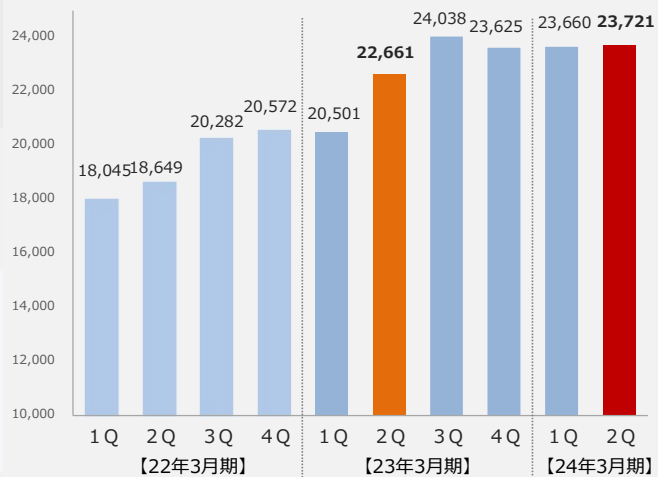
13

連結の業績ハイライトです。特に販管費が昨年と比べて増えています。

これは基軸になる日総工産の中で働く方々が400人強増えたことが要因の1つです。加えて、グループ会社のニコン日総プライムのマジョリティ変更が昨年7月に行われたため、その販管費が1四半期分乗っていることが挙げられます。

売上高

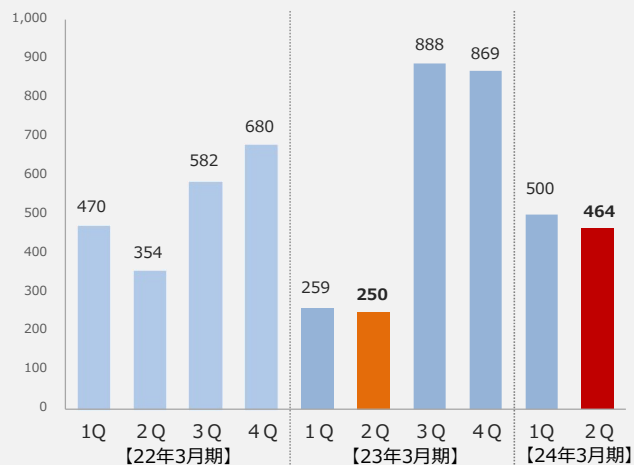
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

2Qは前年同期比85.5%増加



連結の売上高と営業利益の推移は、スライドのグラフに示したとおりです。

売上高について

(単位：百万円)

対前年同期比7.0%増加

在籍人数の増加、オートモーティブの稼働回復もあり売上高は前年同期比で増加。

費用・利益面について

営業利益、66.0%増加

- オートモーティブで部品不足が解消、稼働が回復、売上総利益額が前年同期比で10.2%増加。
- 採用費効率化を継続、販管比率も前年同期比で0.3ポイント改善。

	23年3月期 第2四半期		24年3月期 第2四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	38,875	100.0%	41,583	100.0%	2,708	7.0%
売上総利益	6,137	15.8%	6,764	16.3%	627	10.2%
販管費	5,582	14.4%	5,843	14.1%	261	4.7%
営業利益	554	1.4%	921	2.2%	366	66.0%
経常利益	627	1.6%	938	2.3%	310	49.5%
四半期純利益	385	1.0%	604	1.5%	219	56.9%

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

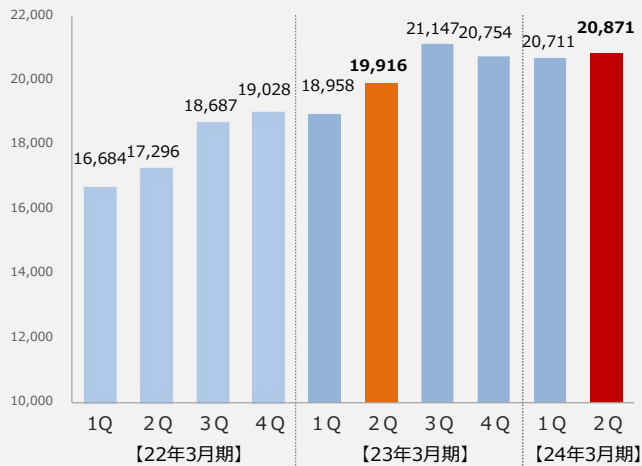
15

日総工産単体の事業会社としてのハイライトです。オートモーティブインダストリーの件は、先ほどお伝えしたとおりです。

販管費は2億6,100万円増加しました。これは、法定福利費を含めた人件費1億5,000万円と、ホールディングスに移行するための業務委託費4,000万円程度がイレギュラーに発生したためです。

売上高

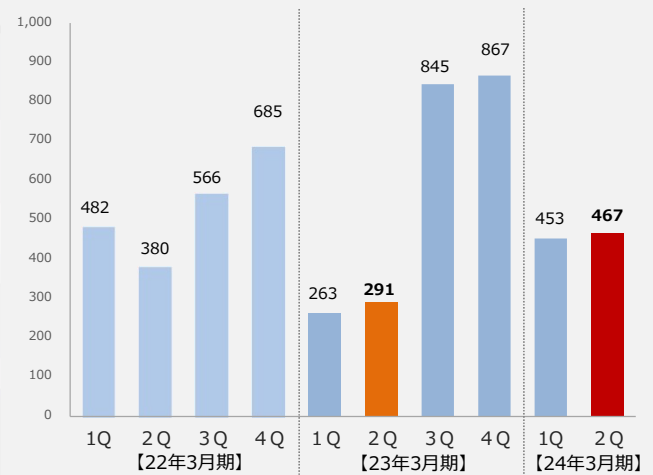
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

2Qは前年同期比60.5%増加



Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

16

単体の売上高と営業利益の推移です。機関投資家から必ず質問されるため、先にお話ししておきたいことがあります。よく「この上期の仕上がりはいったいどうだったのか?」「どう総括できるか?」と聞かれるのですが、思っていたより少し困難なことがいくつかあったというのが率直なところです。

第1四半期は順調に推移しましたが、第2四半期に一部の自動車メーカーが台風やシステムトラブルの影響で停止しました。一番止まったところでは、2日間まるまる止まりました。

これについては補償を頂戴できるのですが、それは本人たちに支払う部分の補償だけであって、利益を稼ぐ機会を損失しています。そのようなこともあり、営業利益10億円は超えておきたかったというのが上期の総括です。

3

主要事業会社（日総工産）の活動概況（2024年3月期 第2四半期）

主要事業会社（日総工産）業績サマリー

売上高	41,583百万円	（前年同期比 +2,708百万円 / +7.0%）
営業利益	921百万円	（前年同期比 +366百万円 / +66.0%）

主要事業会社（日総工産）各指標サマリー

● 注カインダストリー売上高（前年同期比）

注カインダストリー合計 … +5.9%

・オートモーティブ、セミコンダクター、エレクトロニクスの合計である注カインダストリーの売上高は、前年同期比で5.9%増加。

● 期末在籍人数

16,158名（前年同期比+428名）

・在籍人数は、前年同期比で428名増加。
・オートモーティブは順調に増加。エレクトロニクスは一部回復傾向。

● 一人当たりの月平均売上高

428千円（前年同期比+10千円）

・一人当たりの月平均売上高は、オートモーティブの稼働回復もあり、前年同期比で2.4%増加。

日総工産の状況をご説明します。特に3つの注カインダストリーがどうだったかと言いますと、合計では前年同期比で5.9パーセント伸びています。一番大きく伸びた要因は自動車の回復です。

在籍人数は、前年同期比で428名増と伸びていますが、本来、前年比で1,000名以上伸ばすのが通常のスピードです。それができなかった大きな要因は、もちろん自動車の最大手メーカーが多いためそれなりに伸びたのですが、やはり自動車のサプライチェーンの問題があったため、例年どおりには伸ばしきれませんでした。

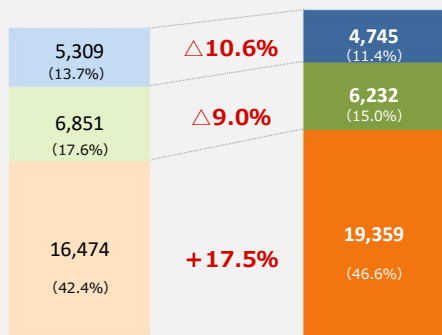
また、セミコンダクターインダストリーも停滞が続いたこと、エレクトロニクスインダストリー（電子機器製造業界）についても同様の状況だったことが、本来1,000名ほど増加させなければいけないところ、400名強の増員にとどまった要因です。

一人当たりの売上高は、前年同期比では増えています。稼働はそれほど上がっていませんが、受注単価が上がったことが大きいです。これからは稼働全体を上げながら、在籍人数も増やして、前年比の数字をどんどん押し上げていくことが非常に重要だと認識しています。

売上高構成比

(単位：百万円)

オートモーティブ セミコンダクター エレクトロニクス



※ () 内%は日総工産売上高比、赤字の%は、前期比伸長率

	売上高	稼働動向	要員動向
エレクトロニクス (電子機器製造業界)	前年同期比で 10.6%減少	低調も一部 回復傾向	低調も一部 回復
セミコンダクター (半導体製造業界)	前年同期比で 9.0%減少	製造装置・ 半導体メモリは低調・ パワー半導体は堅調	低調
オートモーティブ (自動車製造・EV関連製造業界)	前年同期比で 17.5%増加	部品不足の 影響は解消	堅調

スライド左側には、それぞれのインダストリーの売上高構成比を示しています。オートモーティブインダストリーが牽引しており、セミコンダクターインダストリー、エレクトロニクスインダストリーは遅れていることが、グラフから読み取れます。

右側は、それぞれのインダストリーの業界動向です。先ほどもお伝えしたとおり、セミコンダクターインダストリーは1四半期分後ろにずれたという印象を受けています。

		オートモーティブインダストリー (自動車製造・EV関連製造業界)	セミコンダクターインダストリー (半導体製造業界)	エレクトロニクスインダストリー (電子機器製造業界)
上期	設備投資	徐々に拡大	拡大	横ばい
	生産動向	生産の増加は足踏み	製造装置・メモリは低調 パワー半導体は堅調	セミコンダクターと連動し低調
	稼働動向	部品不足の影響は継続	稼働は低調	稼働は低調
	要員動向	堅調	低調	低調
下期	設備投資	拡大	更に拡大	徐々に拡大
	生産動向	部品不足も解消し繁忙	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンに次いで回復
	稼働動向	稼働は完全に回復	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンに次いで回復
	要員動向	堅調	低調	セミコンに続いて徐々に増加

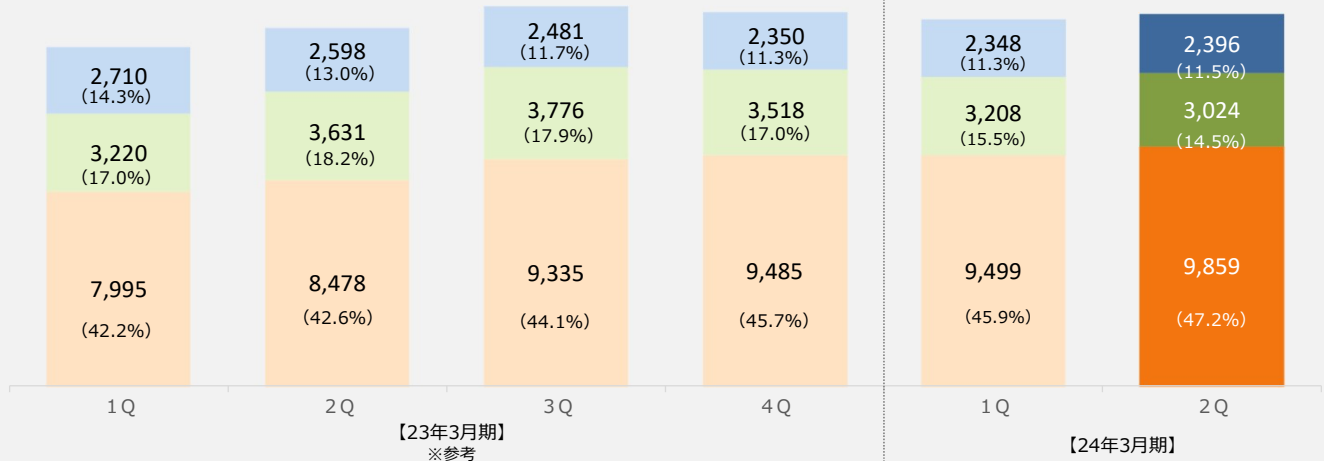
本来セミコンダクターインダストリーは、下期から徐々に回復してくるだろうと見ていましたが、引き続き低調であるため、回復が見えてくるのはおそらく年明けの第4四半期ではないかと感じています。

反面、エレクトロニクスインダストリーは、まだまだ残業は少ないものの在籍数は増員に転じてきているため、ここから徐々に回復してくるのではないかと思います。残り半年で、遅れている分をオートモーティブインダストリーで取り戻していこうというのが今期の組み立てです。

2024年3月期 四半期単位インダストリー別売上高（日総工産）

(単位：百万円)

オートモーティブ セミコンダクター エレクトロニクス



※ () 内%は日総工産売上高比

※参考

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

21

スライドのグラフには、四半期ごとのそれぞれのインダストリーの状況を示しています。見ていただくとわかるとおり、一番下のオートモーティブインダストリーは一貫して上がり続けている状態です。

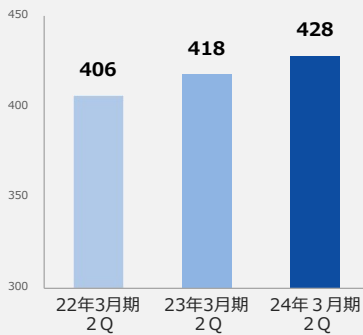
一方、エレクトロニクスインダストリーは昨年の第4四半期から横ばいで推移しています。セミコンダクターインダストリーについては第2四半期が底だと認識しています。

一人当たりの月平均売上高（日総工産）

- 2024年3月期 2Q累計 一人当たりの月平均売上高 428千円（前年同期比 +10千円）
- 一人当たりの月平均売上高は、オートモーティブの稼働回復もあり前年同期比で増加。

一人当たりの月平均売上高

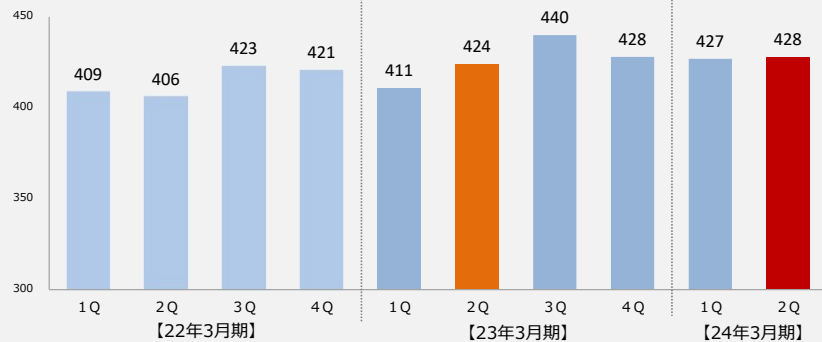
(単位：千円)



一人当たりの月平均売上高

(四半期単位)

(単位：千円)



Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

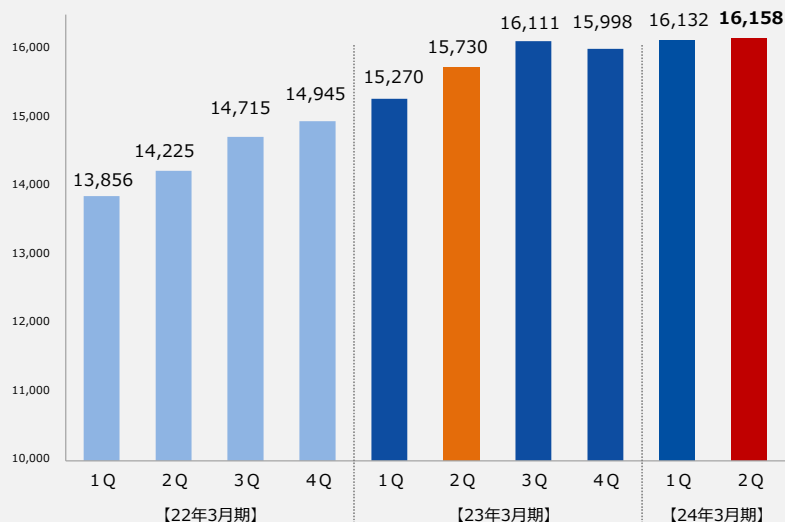
22

先ほど少し触れましたが、一人当たりの月平均売上高です。スライド左側のグラフを見ると、確かに伸びているように見えますが、現状は伸びが少し鈍化していることが読み取れます。

右側のグラフは四半期ごとの状況です。本来であれば、回復の最中でももう少し伸びてもよいところではあったのですが、この第2四半期は伸ばし切れませんでした。

期末在籍人数

(単位：名)



前年同期比

+428名 (+2.7%)

ポイント

上場来、最高在籍を更新

セミコンダクターは低調も、オートモーティブの人材ニーズが堅調により、在籍人数は増加。

在籍人数、いわゆるトップラインです。前年同期比では428名増となっておりますが、昨年の第3四半期からほぼ横ばいで推移しています。

状況をご説明すると、今年度の初めにオートモーティブインダストリーで約250名増員したのですが、そっくりそのままの人数がセミコンダクターインダストリーで減っています。エレクトロニクスインダストリーは微増となったため、ほぼ横ばいで推移になったということです。

足元では自動車メーカー各社が増産体制に移行し始めているため、これから相当なスピードで在籍人数を伸ばしながら、第4四半期あるいは来期につなげていくことが我々がこれから取るべき戦略の1つとなっております。

ポイント

- 全体の受講者数は、エレクトロニクスインダストリー、セミコンインダストリーの生産低調の影響を受け、前年同期比で減少。
- e-ラーニングシステムの本格運用により、受講進捗、理解度をリアルタイムで把握、研修を効率化。

● 2024年3月期 第2四半期 教育実績（延べ人数）※全従業員対象 (単位：名)

区分	研修内容	23年第2四半期 累計	24年第2四半期 累計	前年同期比 比較
(直接系) エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	1,211	776	64.1%
(直接系) その他の研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	9,255	8,544	92.3%
間接系研修	ビジネスマナー キャリアアップ ライフプラン 半導体セミナー等	472	382	80.9%
	合計	10,938	9,702	88.7%

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

24

教育実績です。スライドのグラフを見るとわかるとおり、今まであまり減ることはなかったのですが、特にエンジニア系研修が大きく減っています。理由はスライドに記載しているとおり、エレクトロニクスインダストリーとセミコンダクターインダストリーの生産低調の影響です。とりわけ、取引の大きいメモリと製造装置の分野が非常に低調に推移したことによって、結果的に対象者が減っている状況です。

ただし、我々もそれを手をこまねいて見ていたわけではなくて、研修室の稼働状況が特に東北で低かったこともあり、この間にe-ラーニングの仕組みをしっかりと作り込むことにしました。自社で「Start engineer」というe-ラーニングの仕組みを作り、活用した後に、一般市場に向けても販売開始します。こちらについては後ほどご説明します。

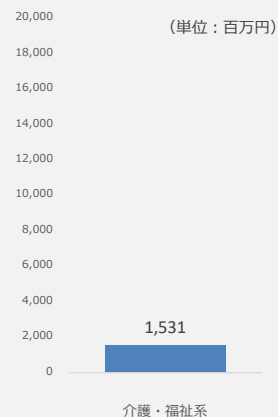
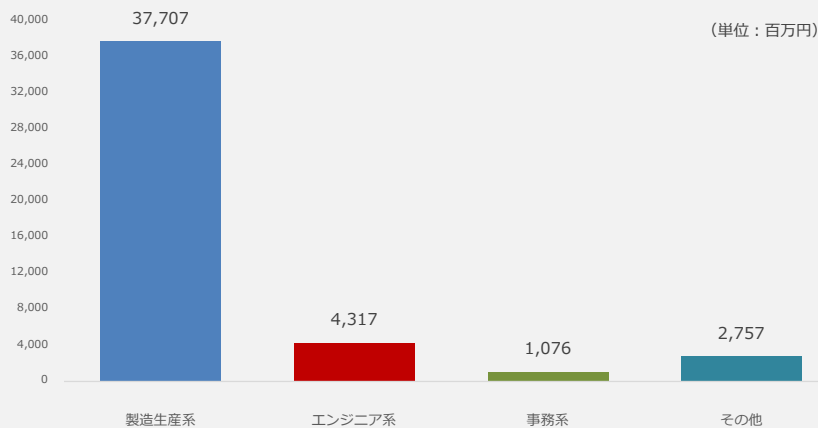
この下期から来期に向けての準備に入り始めており、熊本も含めて一部メモリ系の新しい動きがあるため、少しずつ教育実績も上がってくるのではないかと考えています。

4 セグメント別業績について (2024年3月期 第2四半期)

セグメント（サービス）別売上高

2024年3月期 第2四半期
総合人材サービス事業

2024年3月期 第2四半期
その他の事業



セグメント別の業績については、スライドをご覧ください。

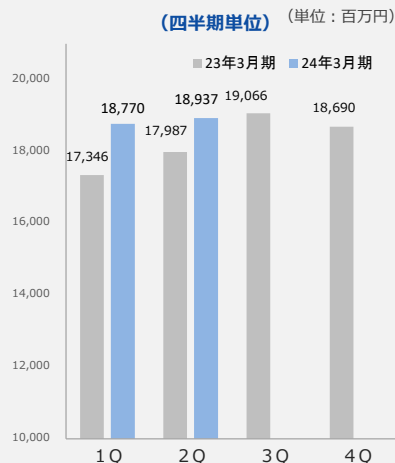
売上高について

2Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加もあり、前年同期比で5.3%増加。

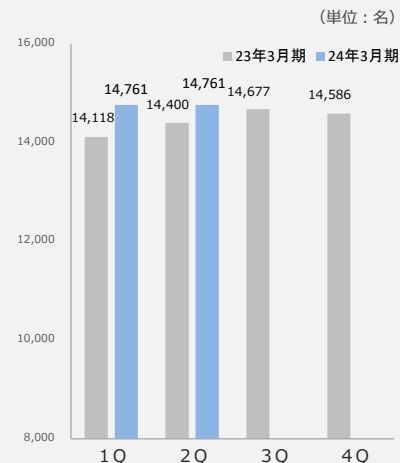
在籍人数について

製造生産系の在籍人数は、前年同期比で361名増加。

製造生産系 売上高



製造生産系 期末在籍人数

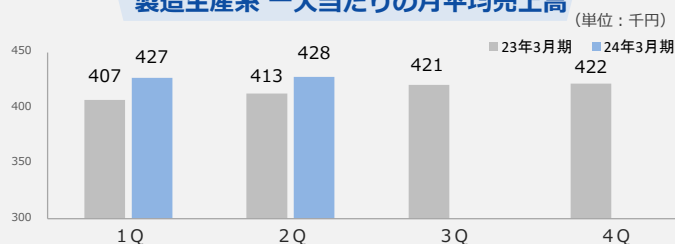


製造生産系人材サービスについてです。売上高は前年同期比5.3パーセント増、9億5,000万円も伸びているのですが、先ほど申し上げたとおり在籍数が横ばいに近いため、伸び方が少し鈍化しています。在籍人数は前年同期比で361名伸びていますが、前期末と比べると175名増となっており、増員ペースが鈍化していることが読み取れるかと思えます。

一人当たりの月平均売上高について

製造生産系の一人当たりの売上高は、前年同期比で3.6%増加。

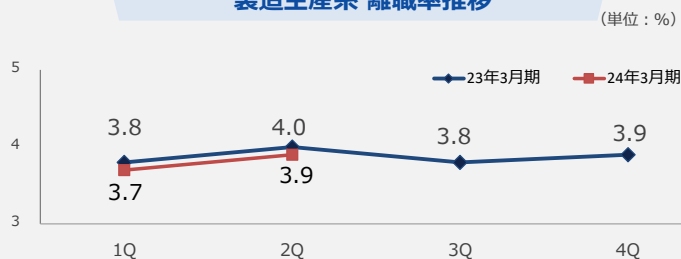
製造生産系 一人当たりの月平均売上高



離職率について

製造生産系の離職率は、前年同期比で0.1P改善。4%未満を維持。

製造生産系 離職率推移



一人当たりの月平均売上高、ならびに離職率の状況です。一人当たりの売上高は、前年同期比で1万5,000円伸びています。これは自動車の稼働も戻ってきていることが、プラスに働いていると思います。

離職率は前年同期比で0.1ポイント改善し、低く抑えられています。これは許容できる範囲と言えるのではないのでしょうか。

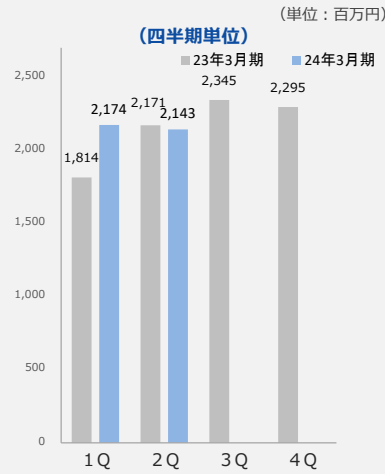
売上高について

2Qのエンジニア系の売上高は、前年同期比で在籍人数は増加も、一人当たりの売上高減少により1.3%減少。累計では、前年同期比で8.3%増加。

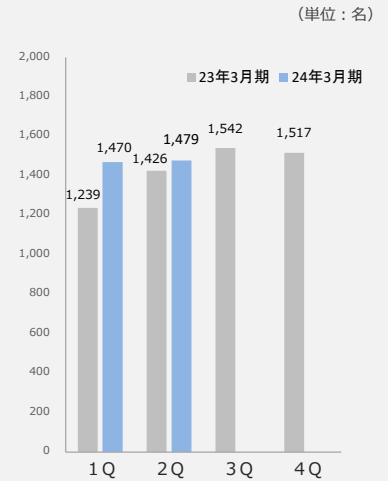
在籍人数について

- エンジニア系の在籍人数は、前年同期比で53名増加。半導体装置・メモリが低調も取引先拡大により微増。
- 各インダストリーニーズに対応するため、さらなる人材育成に向けた準備を開始。

エンジニア系 売上高



エンジニア系 期末在籍人数

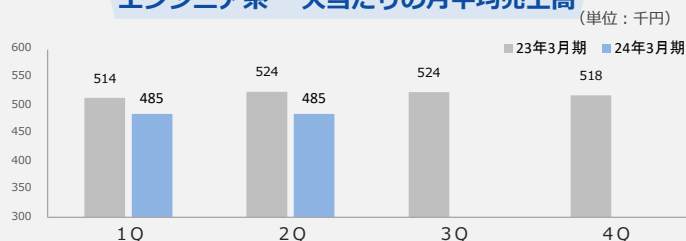


エンジニア系人材サービスについてです。売上高は前年同期比1.3パーセント減、2,800万円程度の減少となりました。これはセミコンダクターインダストリーの稼働時間が非常に低位で推移しており、とりわけメモリや半導体装置については、ほぼ残業がない状態ということが要因です。

一人当たりの月平均売上高について

エンジニア系の一人当たりの売上高は、半導体装置・メモリの低調より前年同期比で減少。

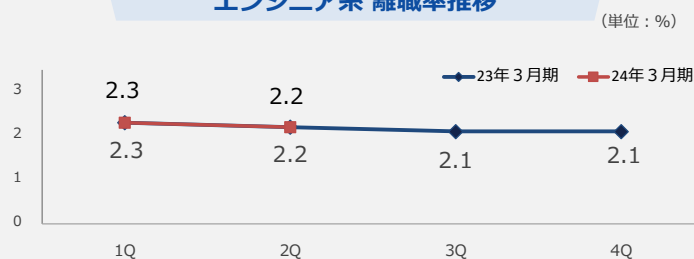
エンジニア系 一人当たりの月平均売上高



離職率について

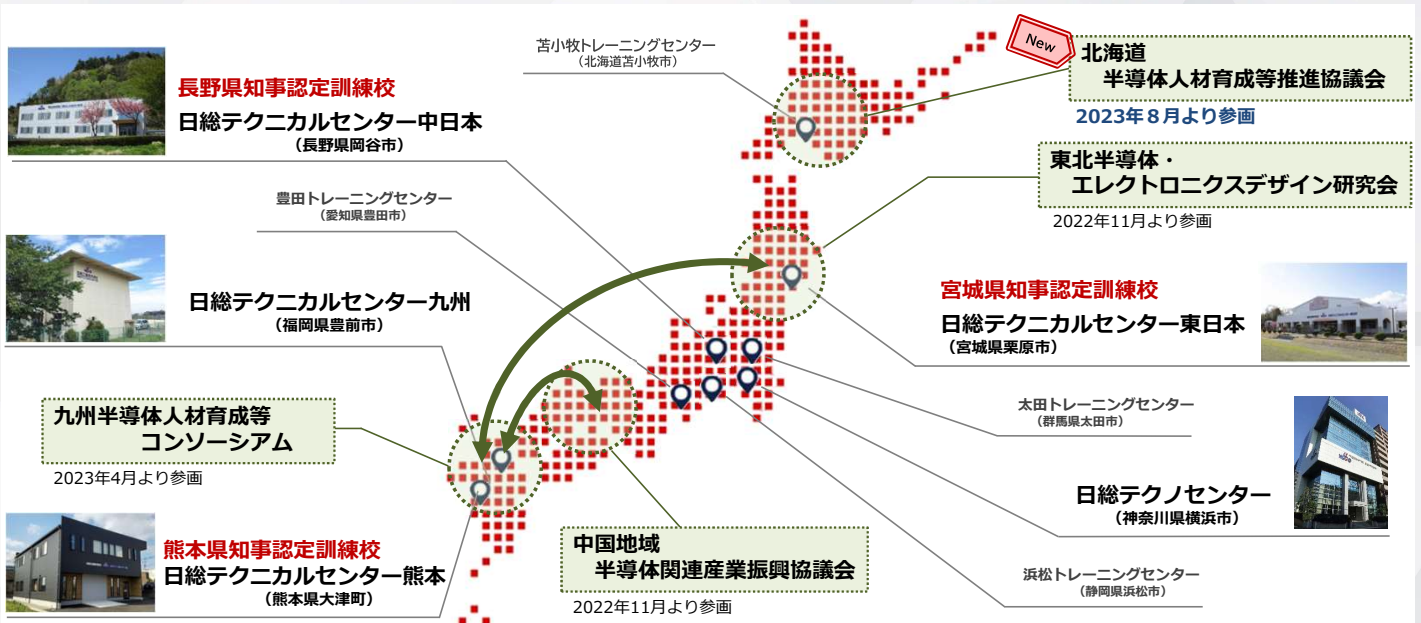
エンジニア系の離職率は、前年同期比、同水準。

エンジニア系 離職率推移



四半期ごとの月平均売上高と離職率の状況です。離職率はほぼ昨年並みに推移しており、この点は問題ありません。ただし、一人当たりの月平均売上高は減少しており、これは先ほどお伝えした時間外労働の減少が原因だと考えています。

自社研修施設の全国拡大と産官学連携により高付加価値人材を輩出



Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

31

スライドでは、我々の事業を伸ばしていく時に非常に重要な育成の仕組みである自社研修施設や、それぞれの地域で参加しているコンソーシアムについて、日本地図で示しています。見ていただくとわかるとおり、今のところすべて半導体系となっています。最初に中国地方のコンソーシアムに参加し、東北、九州と続いて、今年8月には北海道でも参加しました。

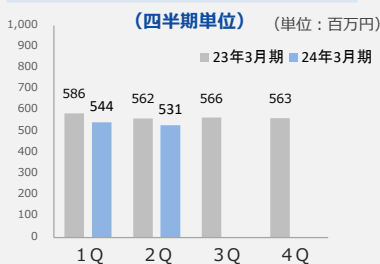
もともと4月から稼働している九州のテクニカルセンターの2.5倍の研修施設を来年4月の開設に向けて準備しています。それほど、今後の九州エリアには大きな期待を寄せています。これが完成すると、セミコンダクターならびにエレクトロニクスインダストリーの人材育成の仕組みが形になると思います。

次に注力したいのは、EVやハイブリッド向けのバッテリーの人材育成の拠点展開と、コンソーシアムへの参加です。現時点で詳細はお伝えできませんが、それぞれの地区の代表的なバッテリーメーカーと相談しながら研修施設を作り、コンソーシアムに参画することを、下期ならびに来年度に進めていきたいと考えています。

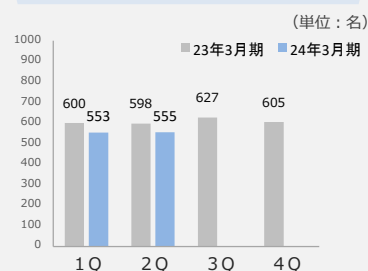
事務系人材サービスについて

2Qの事務系の売上高は、在籍数の減少もあり前年同期比で5.6%減少。

事務系 売上高



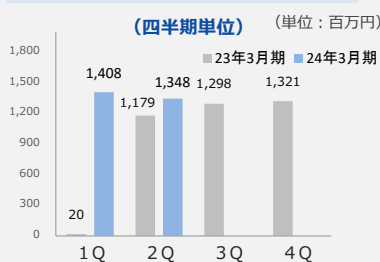
事務系 期末在籍人数



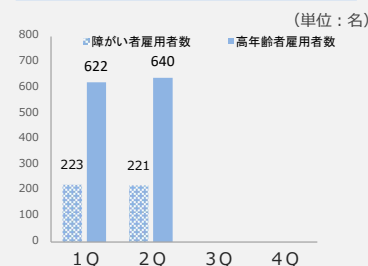
その他の人材サービスについて

- ・株式会社ニコン日総プライムは高年齢者社員の活躍を支援。
- ・高年齢者社員数は640名。
- ・日総ぴゅあ株式会社は、多様な人材が活躍できる職場環境を構築。
- ・障がい者社員数は221名。

その他 売上高



高年齢者・障がい者在籍人数



事務系人材サービスと障がい者と高年齢者の活躍を表したグラフになります。このような時代において、本来事務系の派遣が最も多かった計算センターやコールセンターの業務がAIにどんどん置き換わっています。

来年度に向けては、事務と言っても一般事務ではなく、もう少し付加価値のある人材、あるいは海外からの人材等を検討しています。そのような方針で構造を変えていく計画です。今後ますます人手不足になる中で、障がい者や高年齢者が活躍できるようダイバーシティ経営にも取り組んでいきたいと考えています。

ポイント

- 介護施設全体の入居率は、94.0%と安定して推移。
- 売上高は、前年同期比で1.9%増加。営業利益は44百万円の黒字。

● 介護・福祉系サービス実績

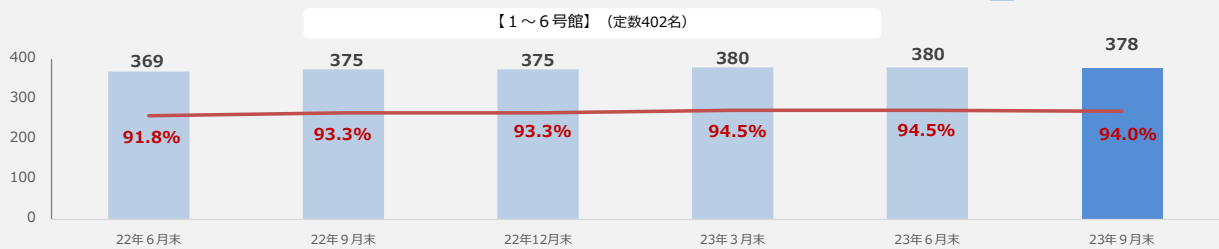
(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	対前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	1,503	1,531	28	1.9%

施設入居者数

(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

33

その他事業である介護・福祉系サービスの状況です。介護施設全体への入居率は94パーセントを超えています。入居率が高位で推移することにより、結果として増収増益になり、上期は4,400万円の黒字で終わることができました。

トピックス

インターステラテクノロジズにエンジニアが在籍出向

- 当社の主要事業会社である日総工産は、ロケットベンチャー企業であるインターステラテクノロジズ株式会社 (IST)に対し、今後の活躍が期待される研究開発エンジニア1名を在籍出向。
- 出向期間は2年間。
- ISTでは機械・電気電子領域の試験などを担当。



第2回ものづくりODM/EMS展に出展

- 当社の事業内容の理解促進を目的として、第26回ものづくりワールド大阪、ものづくりODM/EMS展に出展（2023年10月4～6日）
- 技術系（電池系）メーカーを中心に約550名の方が来訪。
- 高付加価値領域の拡大に向けて東京開催に続き、今期2度目の展示会出展。



e-ラーニングシステムの活用拡大

- 自社開発e-ラーニングシステムの社内運用を経てコンテンツが充実。
- 名称を『Start engineer』とし、業務提携先と共に一般向け販売を開始予定。

Start engineer 3つの特長

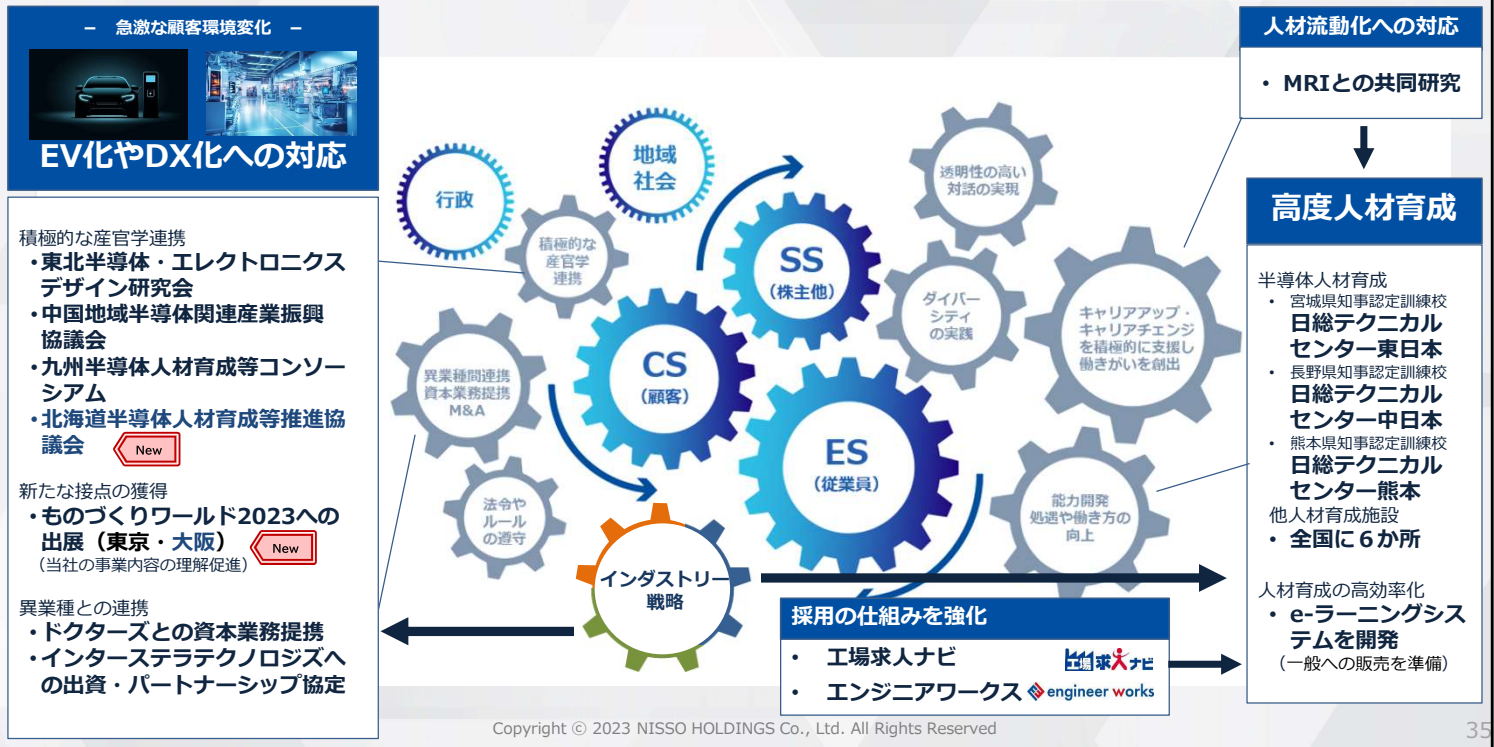
01	02	03
短期間で学べる!	ゼロから学べる!	仕事で活かせる!
業務を行うために必要なカリキュラムだけを用意しているため、短い研修期間で幅広いエンジニアの知識を身につけることができます。	技術知識ゼロ、経験ゼロの方にとって分かりやすいように、動画やアニメーション、イラストや図表を取り入れて解説をしています。	業務開始時に、学習したことを覚えて知識を使える状態にするために、確認テストや復習レポートを多く用意し、記憶に残る設計になっています。

トピックスを3つご紹介します。1つ目は先ほど少し触れた宇宙事業について、インターステラテクノロジズへ1名出向しました。もともと建設機械系の会社にいた人材なのですが、今後、機械や電気電子領域の試験などを担当することです。これから徐々に人事交流を行いながら、我々としてもどのような人材を送客することによって、この分野で活躍できる人材が育成できるかに挑戦していきたいです。

2つ目は、第1四半期の決算説明で東京ビッグサイトに出展したことをお伝えしたと思いますが、10月に大阪で出展を行いました。結果として、技術系の中でも特に電池系のメーカーの方々を中心として、550名の方に来訪していただきました。

3つ目は、先ほどお伝えした「Start engineer」というe-ラーニングシステムの一般販売を開始いたします。特色はスライドに書いてあるとおりです。我々がリアルな教育の中で培ったノウハウをe-ラーニングに落とし込み、自分の勉強すべき領域だけを勉強したり、研修施設で勉強したことを思い出す復習の意味で使ったりと、いろいろな使い方ができると思います。今後も折に触れてご説明しますので、ぜひモニタリングしていただけたらありがたいです。

日総グループ成長サイクルの実現に向けて



グループの成長サイクルの実現に向けて、働く方やお客さまや株主のみなさまに対してきちんと貢献するために必要な取り組みについて、具体的な取り組みをスライドに示しています。新しい点として、北海道の半導体コンソーシアムに新しく関わったことや、ものづくりワールド2023に出展したことがあります。

今後、四半期ごとにこの図を充実させていき、我々がこのようなことを考えながら、成長に向けているような戦略を立て、対策を打っていることを示していきたいと考えています。

5 今後の見通し (2024年3月期)

2024年3月期 通期連結業績予想

当社の連結業績につきましては、日総工産が2023年5月11日付で公表した通期連結業績予想をもとに持株会社設立による影響を加味し算出いたしました。開示数値に変更はございません。

■ 2024年3月期通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

(単位：百万円)

	23.3期実績		24.3期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	90,827	100.0%	100,000	100.0%	9,172	10.1%
営業利益	2,268	2.5%	3,600	3.6%	1,331	58.7%
経常利益	2,349	2.6%	3,600	3.6%	1,250	53.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,622	1.8%	2,300	2.3%	677	41.8%

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

37

今後の見通しについてです。今のところ、5月11日に公表したとおりの通期予想は変わりません。

セミコンダクターインダストリーが1四半期分遅れているものの、各自動車メーカーあるいは自動車部品メーカーが立てている生産計画を考慮すると、その分野で遅れを取り戻せるのではないかと現時点では考えています。そのため、期末の着地については据え置きます。

6 株主還元方針

基本方針

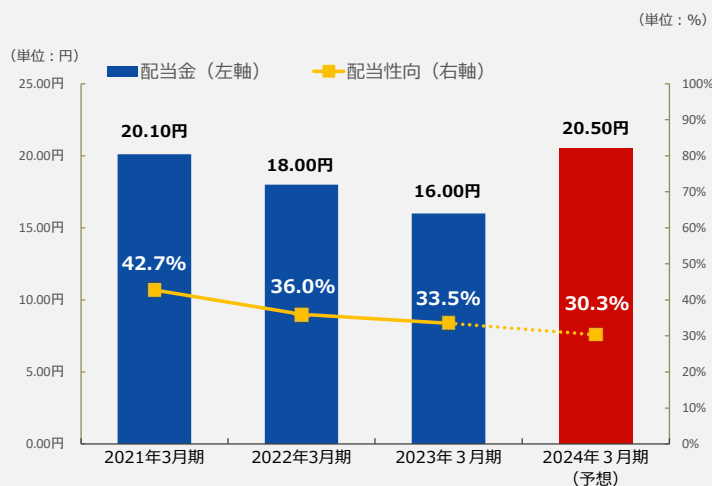
当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2024年3月期の配当予想

一株当たり配当金額は20.50円を（連結配当性向は30.3%）を予定しております。

また株主優待制度は継続いたします。

配当金と配当性向



※2021年3月期の配当金には、創業50年記念配当5円00銭を含んでおります。
 ※2023年3月期までは、持株会社体制となる前の日産工業株式会社の数値を掲載しております。

株主還元方針についてです。基本方針は毎回ご説明しているのですが、今期の配当は20円50銭を予定しています。

今後はさらに収益を伸ばしていきながら、配当性向30パーセント以上で安定的に増配していきたいと考えています。年々右肩下がりだった配当がここに来て右肩上がりへ転じ、ようやく私も一安心しました。再び右肩下がりにならないよう、社員一同、事業に取り組んでいきます。

7 補足資料

連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	23年3月末		23年9月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	21,747	72.3	25,055	75.0	3,307
現金及び預金	9,800	32.6	12,469	37.3	2,669
売掛金	10,986	36.5	11,655	34.9	668
固定資産	8,344	27.7	8,348	25.0	3
有形固定資産	4,660	15.5	4,659	13.9	▲1
無形固定資産	1,514	5.0	1,430	4.3	▲83
投資その他の資産	2,169	7.2	2,258	6.8	89
資産合計	30,092	100.0	33,403	100.0	3,311
流動負債	12,187	40.5	15,652	46.9	3,465
短期借入金	—	—	3,000	9.0	3,000
未払費用	6,119	20.3	6,683	20.0	564
賞与引当金	1,395	4.6	1,459	4.4	64
固定負債	3,097	10.3	2,856	8.6	▲240
長期借入金	2,019	6.7	1,773	5.3	▲245
負債合計	15,284	50.8	18,509	55.4	3,224
株主資本	14,563	48.4	14,645	43.8	81
非支配株主持分	239	0.8	242	0.7	2
純資産合計	14,807	49.2	14,894	44.6	86
負債純資産合計	30,092	100.0	33,403	100.0	3,311

Point

① 稼働人数拡大による増加

製造系人材サービスの稼働人数拡大他により、流動資産の「売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加しました。

② 資金調達

新規の借入により、流動資産の「現金及び預金」及び流動負債の「短期借入金」が増加しました。

③ 全体

上記の結果、前期末比で資産合計が11.0%増加、負債合計が21.1%増加、純資産合計が0.6%増加となり、自己資本比率43.9%となりました。

ここからは補足資料になります。まず、連結貸借対照表です。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	23年3月期 第2四半期	24年3月期 第2四半期	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△96	673	770
投資活動によるキャッシュ・フロー	113	△212	△326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△863	2,208	3,071
現金及び現金同等物の増減額	△846	2,669	3,515
現金及び現金同等物の期首残高	8,773	9,800	1,026
現金及び現金同等物の期末残高	7,927	12,469	4,542

Point

- ① 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益998百万円等の収入で売上債権の増加額668百万円等の支出を吸収し、673百万円の収入となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出138百万円等により、212百万円の支出となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー
短期借入金の純増減額3,000百万円の収入で配当金の支払額544百万円等の支出を吸収し、2,208百万円の収入となりました。

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved

42

連結キャッシュ・フロー計算書です。後ほどご覧いただければと思います。

以上で私からのご説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。



本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社 IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso-hd.com>

Copyright © 2023 NISSO HOLDINGS Co., Ltd. All Rights Reserved